

【MOT1.0-MOT2.0で整理】

	NOT-MOT	MOT1.0	MOT2.0
テクノロジー (R&D戦略)	・現有テクノロジーを利用／応用できない・しない (多くの中小企業)	・現有テクノロジーを利用／応用できる (成長する中小企業) ⇒ 現業の深化・市場浸透・競争参加	・新テクノロジーを応用 (研究開発) できる (ベンチャー企業、大企業) ・新テクノロジーによる市場創造 (一部のベンチャー企業、大企業) ー市場創造型 (顧客が気づいていない潜在ニーズ 価値を具体化) (利便性向上、不便さの解消、競争力アップ・シェアアップ)
商品・サービス	・商品サービス改良ができない・しない (多くの中小企業) ⇒競争劣位・競争不参加	・現有市場で商品サービス改良できる (成長する中小企業) ⇒ 現業の深化・市場浸透・競争参加	・新商品開発による市場創造 (一部のベンチャー企業、大企業) ー市場創造型 (顧客が気づいていない潜在ニーズ 価値を具体化) (利便性向上、不便さの解消競争力アップ・シェアアップ)
ビジネスモデル	・儲けの仕組みを利用／応用できない・しない (多くの中小企業)	・儲けの仕組みの利用／応用による現有市場の商品改良 (成長する中小企業) ・業務 (仕事) の流れやバリューチェーンに見直し改善による価値提供 (成長する中小企業、大企業) ⇒プロセス改善型(業界の常識打ち破る)	・新ビジネスモデルによる新市場創出 (一部のベンチャー企業、一部の大企業) -開発、仲間づくり・共創、社会受容性 ⇒独り勝ち・ブルーオーシャン 新モデルによる価値提供 (一部のベンチャー企業) ⇒既存モデル・秩序破壊型 (既存企業の儲けの仕組みを無力化)
マーケット (領域分野、顧客、利用者)	・マーケットを開拓できない	・現有マーケット開拓 ⇒現業の深化・市場浸透・競争参加 ⇒プロセス改善型(業界の常識打ち破る)	新テクノロジー、新商品、新ビジネスモデルを組み合わせて現有／新規マーケット開拓
知財	知財戦略がない。できない	・知財戦略 (専有可能性の確保) ・アライアンス、産学連携	・知財戦略 (専有可能性の確保) ・アライアンス、産学連携
社会環境 (社会制度・法律)	社会環境が把握できていない		・新しい制度を創りあげて新市場立ち上げる ・人(気持ち・心理) や社会に受け入れられる社会受容性を創り上げる
人材育成教育	できていない		

<所感>

アーネスト育成財団西河経営塾との関係

①MOT1.0に取り組みたい人に対して、現行西河経営塾ターゲット！？

現行の西河経営塾で学んでもらう。

②MOT2.0に取り組みたい人に対して、

新規で事業構想する理論&演習 (実践) を徹底的にたたきこむ。特にビジネスモデル創出とフィールドリサーチ。

事業計画書を策定し実践できる知識スキルを身につけさせる。